

どうかはどれだけ多くの人が候補者になってくれるかに依存します。日本気象学会の正式の機関である nominating committee が自分の見識・実行力・サービス精神を高く評価し要請してきたのだから、落選するかも知れないが、ひとつ候補者になるかという雰囲気になれば、いいかと思います。

こうして候補者を選び、詳しい履歴書をつけて候補者名簿が書き上がります。履歴書は単に過去の勤務先を列記するだけでなく、professional にどのような活動してきたまでを含めるのが望ましいのですが、若い人達にもぜひ理事になってもらいたく、その場合履歴書が短いのは

当然です。名簿をつくる段階で候補者から正式に承諾者を貰っておきます。いうまでもなく、この名簿には、どのようなプロセス（自薦・他薦・コミティーからの要請の別）で候補者が選ばれたかは全く書いてありません。すべての候補者はコミティーが選んだ人です。

日本気象学会の現状にうとく、的はずれのことをいったかも知れません。しかし理事は名誉職でもなければ、雑用係でもありません。自分たちの学会、お互いのための学会、世界と結ぶ学会の運営をおまかせする理事です。どうすればベストの人になってもらえるか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

第16回「リモートセンシングシンポジウム」講演募集

主催：計測自動制御学会

企画：リモートセンシング部会

協賛：応用物理学会、海洋科学技術センター、海洋気象学会、画像電子学会、漁業情報サービスセンター、システム制御情報学会、資源観測解析センター、精密工学会、地震学会、テレビジョン学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本海洋学会、日本火山学会、日本機械学会、日本気象学会、日本気象協会、資源・素材学会、日本航空宇宙学会、日本写真学会、日本写真測量学会、日本測量協会、日本地質学会、日本林業技術協会、日本陸水学会、日本リモートセンシング学会、農業土木学会、物理探査学会、リモートセンシング技術センター、Tokyo Chapter of IEEE Geoscience and Remote Sensing Society

標記について、下記要項によって一般講演の募集をいたしますから、ふるって応募されるよう希望します。

期日：平成2年10月4日(木)、5日(金)午前〔特別講演、一般講演、懇親会〕

なお、5日午後は研究会を予定しています。

会場：機械振興会館〔東京都港区芝公園3-5-8〕

特別講演：10月4日(木)午後

地球構造のリモートセンシング・その先端技術と問題点

(1) 科学・防災面からの探査・研究

講師：浜田和郎(国立防災科技セ)

一般講演申込締切：平成2年7月16日(月)

講演申込方法：A4判用紙に下記事項を記入し、学会事務局あてお申送ください。1)題目、2)発表者氏名(登壇者に○印)、3)登壇者の連絡先と所属学協会名、4)400字以内の概要、5)講演分野(下記①～③の該当分野から1つずつ選んで記入してください)、6)原稿枚数(2ページか4ページの指定、1)、2)については英文名も併記してください。

講演分野：①(ハードウェア、ソフトウェア)、②(応用、基礎)、③(可視、赤外、マイクロ波、その他)

講演の予稿集：講演時間は1件20分とし予稿集はオフセット印刷で1論文1,480字詰原稿用紙2ページまたは4ページとします。原稿用紙は申込の後、学会事務局より送付いたします。

講演原稿の締切：平成2年9月5日(水)

参加費(予稿集代金)：当学会および協賛学協会会員6,000円、学生3,500円、一般7,500円(消費税込)

講演申込先：☎113)東京都文京区本郷1-35-28-303
(社)計測自動制御学会リモートセンシングシンポジウム係
電話(03)814-4121 F A X (03)814-4699